

漁海況情報

2011年(平成23年)8月 第465号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

FAX 098-995-2357

携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)↑

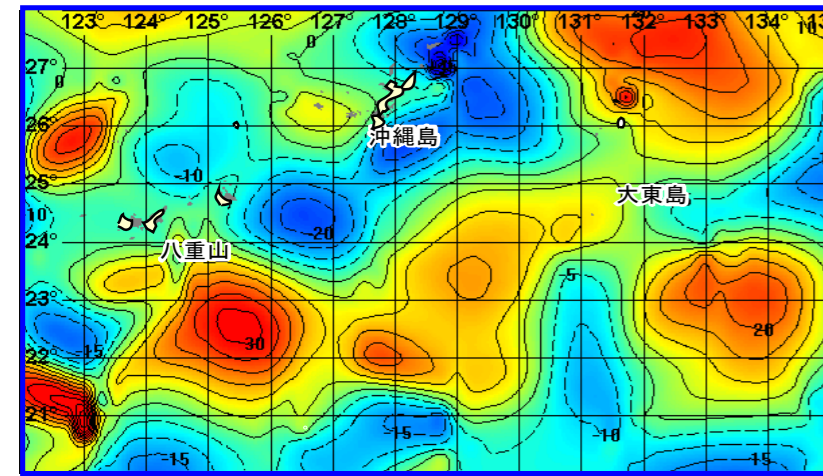


図1. 海面高度図(2011年10月16日) 海面温度観測は10月5日以降、停止中。

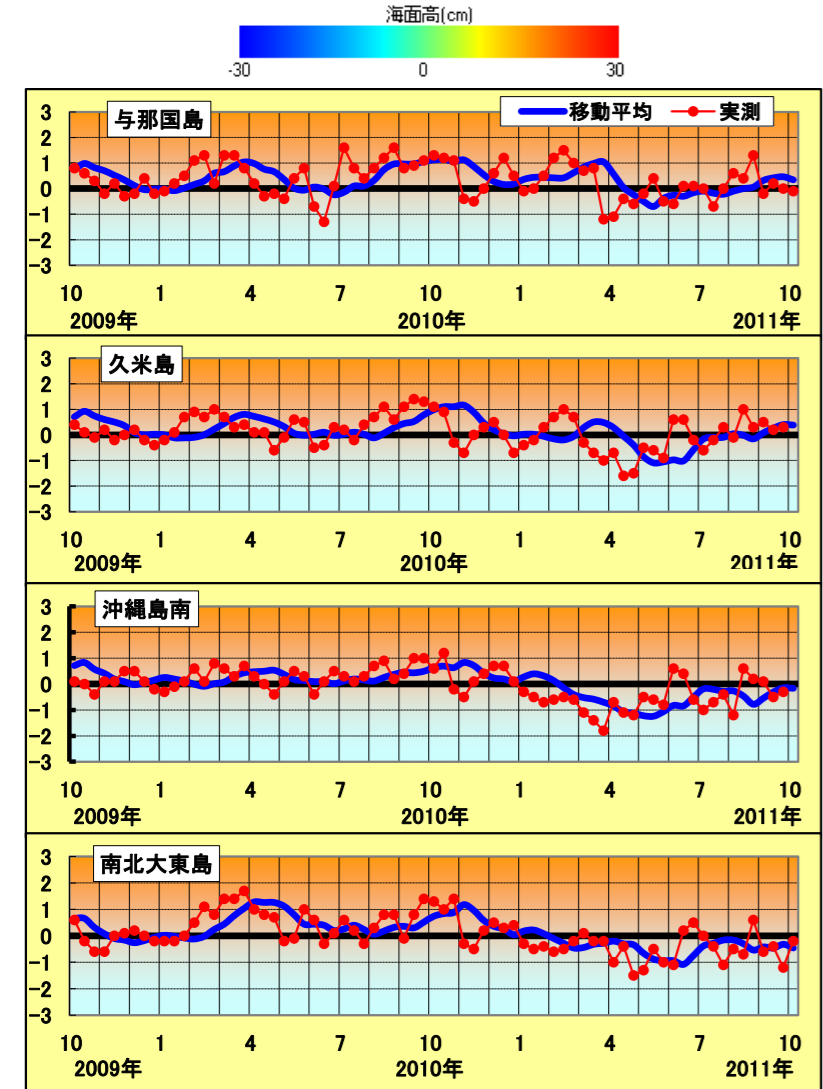


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

N 水温：10月上旬の水温は、概ね平年並み(±0.5℃程度)であった。10月中下旬の水温は概ね平年並み(±0.5℃程度)からやや高め(+0.5℃程度)で推移する見込み。特に、先島海域では高めの傾向になると予想される。

潮流：大東島の近海に比較的強い北向きの流れがが発生している模様。

参考資料

海水温・海流1ヶ月予報：10月7日気象庁

地球環境・海洋部発表

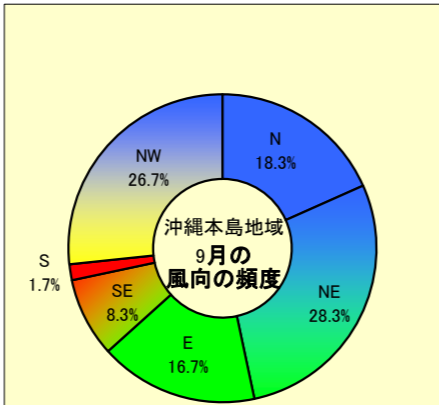
西日本海区别海況情報：10月16日発表長崎海洋気象台

沖縄県地方1か月予報：10月14日沖縄気象台発表

お知らせ

利用していた海面水温観測が10月5日以降、停止しています。

10月上旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
南北大東島	平年並み



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではキハダ、カツ

表1 8月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.5	0.3	0.0	0.0	0.8	0.1	2.1
クワジキ	1.6	0.4	0.4	0.0	2.5	0.0	11.4
沖サワラ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9
カツオ	0.9	0.3	0.4	0.3	1.9	10.0	12.8
キハダ	20.0	2.1	3.2	0.7	26.1	17.2	81.5
シビ	4.4	4.3	1.0	2.6	12.3	8.4	24.6
メバチ	1.5	0.0	0.3	0.7	2.5	0.0	4.6
計	29.2	7.5	5.4	4.3	46.4	35.6	137.9

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

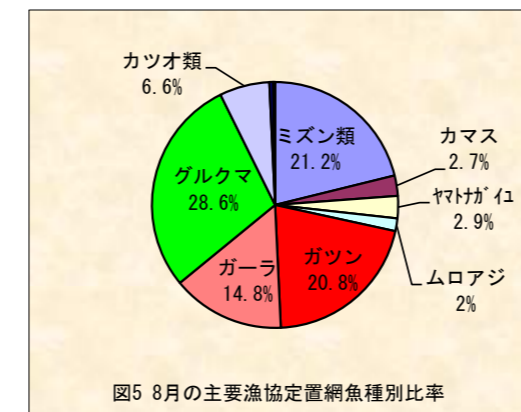
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	-	-	98.1

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	-	-	37.4

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	-	-	14.2



定置網：8月の全体の漁獲状況は、7,064.3kgで先月(12,661.6kg)と比べて減少した。グルクマの漁獲が全体の28.6%、ミズンが21.2%、ガンズンが20.8%を占めた(表3、図5)。



シロクラベラ(まぐぶ)

糸満では、キハダ(10kg以上)が20.0t、シビが4.4t漁獲された。港川がシビが4.3t、キハダが2.1t、知念では、キハダが3.2t、シビが1.0t、沖縄市ではシビが2.6t、キハダが0.7t、メバチが0.7t、伊良部ではキハダが17.2t、カツオが10.0t、シビが8.4t漁獲された(表1)

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

今年度のキハダの漁獲量を過去5年間と比較すると、5月期(33.5t)で、昨年度5月期(155.1t)と比べて大きく減少した。また8月期のキハダの漁獲量は26.1tで、7月期(47.8t)に比べて21.7t漁獲量が減少、昨年8月期と

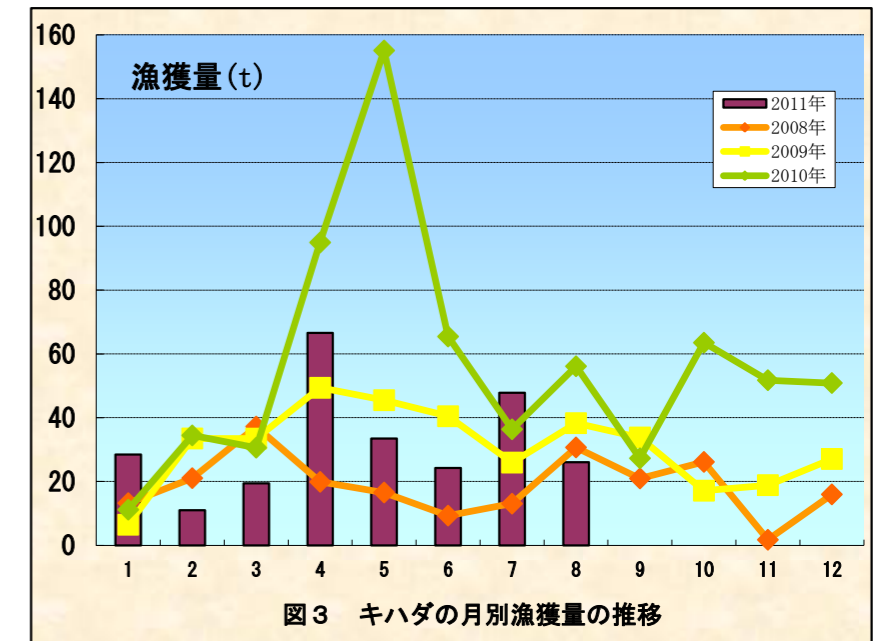


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表3 8月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	952.4	18.0			68.2	0.0	440.5		1,479.1
カマス	124.9	41.0			8.5	5.0	7.4		186.8
ヤマトガ'イ	46.8	53.8			82.3	16.7	4.9		204.5
ムロアジ	104.8	0.0			12.3	0.0	0.0		117.1
ガンズン	1,208.0	113.0			4.3	87.4	44.1		1,456.8
ガーラ	358.7	335.1			78.3	182.3	82.3		1,036.7
グルクマ	1,847.7	122.7			13.4	7.0	9.3		2,000.1
カツオ類	347.3	3.3			28.6	62.7	17.6		459.5
タチウオ	1.3	19.4			1.9	8.0	4.2		34.8
アイゴ	0.0	0.2			3.3	0.0	13.9		17.4
合計	4,991.9	706.5	0.0	0.0	301.1	369.1	624.2	0.0	6,992.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。